

こんなことが決まりました



市有地に放置状態の自動車

市有地などに自動車が放置されないよう、良好な都市環境の形成と市民の安全で快適な生活環境の保全を図るため、市の責務を次のように規定しました。

「費用請求」などができる
ことになります。

現在、市有地に無断で長
期にわたり駐車している自
動車は、くりこま高原駅の
駐車場に6台確認されてい
ます。

この条例は、新たに制定
しました。

放置
自動車

撤去命令や処分が可能

市長、副市長、教育長、病院事業管理者および議会議員の期末手当（ボーナス相当）は、国的人事院の勧告に基づき「特別職の給与

「に関する法律」の改正により決定しています。

（令和元年12月1日施行）
に伴い、議会議員も同様に
0・05月分を引き上げること
にしました。

令和2年4月1日から、行政区長の身分や職務が条例により、特別職の非常勤職員に位置づけられ、「地域住民の意見を聴取し、意見の結果に基づき、市長へ助言などをを行うことができる」とされ、職務や任期、報酬などが厳格化されます。これまでの職務としていた、各種の通知などの配布業務は引き継がれます。

12月定例議会では、「栗原市議会のあり方調査特別委員会」【9ページ参照】で2年前から調査・研究してきた、期末手当の加算や費用弁償の結果報告を受け、議会議員の費用弁償や期末手当に関する条例の一部を改正するとともに、放置自動車の撤去や処分が可能な条例を制定しました。

**厳格化なる
区長の身分**

民間に市施設の管理運営を任せました。

管理料	3745万円	期間	令和2年度から令和4年度まで
管理者	くりはら斎苑	期間	株式会社
管理料	1億9225万円	期間	令和2年度から令和6年度まで
管理者	ハイルザーム栗駒・延年閣・温泉山荘など5施設	期間	令和2年度から令和4年度まで
管理料	1億3449万円	期間	株式会社ゆめぐり
管理者	テニスコートなど6施設	期間	令和2年度から令和6年度まで
管理料	2億3895万円	期間	スポーツウェルネス
管理者	株式会社ダンロップ	期間	令和2年度から令和6年度まで
管理料	2億3895万円	期間	くりはら交流プラザ (エポカ21)



大量の稻わらが持ち込まれる処分場

台風19号は10月12日深夜から13日未明にかけて激しい雨が降り、瀬峰泉谷では1時間の降水量が52ミリを観測し、最大24時間降水量では264ミリが観測されるなど、市内の各地で河川の氾濫などが発生しました。

11月22日現在の被害状況は、負傷者4人、住宅被害は、半壊23世帯、一部損壊および準半壊59世帯、床下浸水41世帯、その他被害48世帯、あわせて171世帯

です。非住宅被害は、床上浸水17件、床下浸水28件、その他被害60件、あわせて105件です。また、農林業用施設や公共土木施設などを含め、全体で1688件となつたほか、道路133か所が片側、全面通行止めとなるなど、被害額は35億6000万円です。

避難所は、10地区23施設のほか、自主防災組織などでも開設し、1425人が避難しました。



農作物を囲む電気柵

農業振興費に補助金

今回の補正予算において農作物に被害を及ぼす、有害獣対策として、防護設備設置の事業補助金や、農業の担い手づくりに対する、支援補助金を可決しました。

農作物有害獣被害防護設備設置事業補助金
250万円

強い農業・担い手づくり総合支援補助金
186万円

12月定例議会

補正予算

台風
19号

稻わら処理費を助成

令和元年10月12日から13日にわたる台風19号の豪雨は市内に甚大な被害をもたらし、や市道の法面崩壊など、被害額は35億6000万円に及んでいます。12月定例議会では、台風19号の災害復旧費用などを盛り込んだ補正予算が提案され、原案のとおり可決しました。

被害の額35億6000万円

堆積稻わらの処理費用

市は、農家や農業団体および業者などが農地に堆積した稻わらを処分場に運び込までの経費や堆肥化による処理予算を次のように決めました。	市は、農家や農業団体および業者などが農地に堆積した稻わらを処分場に運び込までの経費や堆肥化による処理予算を次のように決めました。
市民間の堆肥製造業者での処理費用 1億2500万円	市民間の堆肥製造業者での処理費用 1億2500万円
水田、水路、農道に堆積	水田に堆積した稻わらの撤去費用 5009万円
農地の災害復旧費	農地の災害復旧費 2495万円

市道や橋に堆積した稻わらの撤去費用
1000万円